令和５年度　人権教育全体計画

日本国憲法
教育基本法
学校教育法

学校教育目標

・愛する：豊かな心をもつ生徒
・考える：自ら学び自ら考える生徒
・行う：健康で実行力のある生徒

群馬県人権教育の基本方針
下仁田町教育行政方針
地域・家庭・生徒の実態
保護者の教育的要望

人権教育目標

日常生活の中で，主観や集団心理などに左右されないものの見方や考え方ができるように，人権尊重の精神と基本的な生活習慣を養い，差別などの人権問題の解決に向けて行動していくような実践力のある生徒を育成する。

目標達成の観点

①生徒一人ひとりをよく知る。
②一人ひとりを大切にする集団づくりに努める。
③正しいものの見方・考え方を育てる。
④生徒たちの連帯意識を育てる。
⑤職員の間にも望ましい人間関係を育てる。

学年人権教育目標

１年　差別などの人権侵害を許さない心情を育てる。
２年　正しいものの見方・考え方ができる力を育てる。
３年　身近な人権問題に取り組む。

総合的な学習の時間人権教育目標

課題を追究する過程を通して、他者を大切にする心と正しいものの見方・考え方、それを適切に人に伝える力を養う

道徳人権教育目標

人権尊重を基盤とした道徳的判断力，心情，態度及び意欲を育て，偏見や差別を許さず，自らの課題として解決しようとする実践力を育てる。

１年	人権尊重の立場から仲間作りや友情の中で思いやりのある行動がとれ，差別などの人権侵害を許さない心情を育てる。
２年	寛容で思いやりのある心情を持ち，差別がつくられたものであるという正しいものの見方・考え方を育てる。
３年	人権問題を身近かなものとして意識し，他の人の身になって考え，解決しようという実践意欲を育てる。

特別活動人権教育目標

生徒一人ひとりが集団の一員として役割を意識し，好ましい人間関係をつくり上げ，自主的に実践できる生徒を育てる。

学級活動	一人ひとりをよく知り，集団の中で個々の良さを生かせるようにする。 学級における個々の役割と責任を意識させ，よりよい集団をめざし協力してものごとにあたるようにする。
生徒会活動	さまざまな場面における生徒の自主的・自発的活動を支援し，一人ひとりを大切にする人間関係を育みながら，より高い目標に向かって，連帯意識をもって活動できるようにする。
部活動	異年齢集団として，お互いの温かい思いやりや助け合いの中で，困難を乗り越え，目標達成に努める態度を養う。
学校行事	集団活動を通し，自らの所属感を深め，集団の一員として，その発展のため積極的に参加し，行動できるようにする。

各教科共通人権教育目標

教科の特性を生かし，一人ひとりを大切にした「身に付く」授業で学力を高め，正しいものの見方・考え方のできる生徒を育てる。

国語	言葉の受け取り方の違いの認識を育てる。 国語に対する関心や自覚を高める。
社会	さまざまな偏見・差別に関する国際的な認識を理解し，人権侵害解消への実践力を育てる。 人権を尊重できる正しい判断力・行動力を育てる。
数学	論理性と抽象的思考力を高め，合理的な見方・考え方ができる力を養う。
理科	観察・実験を通して科学的な能力と態度を育てる。 自然の物事・現象について理解を図り，自然を愛する豊かな心情を培う。
英語	英語学習を通して，外国人の生活やものの見方を学ばせ，互いの違いや良さを認め合い，尊重し合う心を養う。
音楽	表現・鑑賞活動を通し，互いに励まし合い，美しい音楽を作り上げることに努める生徒を育てる。
美術	作品制作・鑑賞を通じて個々の人格，個性を尊重する態度・理解力を養う。
技・家	人権尊重・生活優先の立場から生活に必要な技術を習得，理解させ，工夫し創造する能力及び実践的な態度を育てる。
保健体育	情緒を安定させ，公平な態度を育成して，進んで規則を守り，互いに協力して自己の責任を果たす力と態度を養う。 健康安全に留意して生活を営む能力と態度を養う。

重要課題に対する取組

女性	HIV感染者等
子どもたち	ハンセン病元患者
高齢者	犯罪被害者等
障害のある人たち	インターネット等
同和問題	コロナウィルス感染者等
外国籍の人たち	LGBT
	その他

道徳・教科・特別活動・総合的な学習の時間の年間計画